

# 旧石器ハテナ館だより

# せんとうき

# 尖頭器



尖頭器とは、主に旧石器時代に使われた狩猟具です。

**旧石器ハテナ館**  
 (史跡田名向原遺跡 旧石器時代学習館)  
 神奈川県相模原市中央区  
 田名塩田 3-23-11  
 TEL042-777-6371  
 平成 29 年 8 月 15 日  
**【第 35 号】**

**文化財探訪** ～歩いて歴史と触れ合う～

**4月22日(土)開催**

## いにしえの海老名探訪

海老名は、有鹿神社の「水引祭」や中世の横山党を中心とする武士の勢力争いなど、古くから相模原と関わりのある地域です。今回の探訪は、「相模国国分寺跡」や「秋葉山古墳群」はもちろんのこと、普段なかなか気づかない考古の遺跡なども訪ね、海老名の魅力に迫るとともに、相模原をより広い視野から見つめ直そうと企画したものです。



有鹿神社

当日は、曇り空だったものの暑くもなく寒くもない絶好のウォーキング日和で、参加者27名とスタッフは期待を胸に歩き出しました。



相模国国分寺跡

最初の「有鹿神社」では、本殿天井に描かれた龍の絵などを見学した後、宮司から「海老名(衛尾名)」や「五(護)之宮」などの呼び名にもとづく「有鹿神社の謎」についてお話しがありました。探訪ならではの貴重な経験に、参加者の皆さんも満足そうでした。途中、弥生時代の「河原口坊中遺跡」付近で、発掘された「しがらみ状遺構」や「小銅鐸」などについての解説を行いました。青山通り大山道経由で「相模国国分寺跡」に着くと、ボランティアガイドさんと海老名市教育委員会の今野まり子学芸員から解説があり、皆さん熱心に耳を傾けていました。

空もいく分明るくなってきたので、昼食は開放感あふれる国分寺跡公園内で取ることができました。多くの方が七重塔跡の礎石に座り、会話を弾ませていました。午後は、今野学芸員に同行いただき、「国分尼寺跡」、「弥生神社」、「龍峰寺」と巡って行きました。途中「船着き場」で逆川の運河の説明をしたり、現在廃線になっている「相模国分寺駅」や「海老名国分寺駅」などの解説を行ったりしました。また、急こう配の「かいな坂」を上る際には、今泉館の一色伊予守六郎の妻護王姫の悲しい伝説を紹介しました。

坂の上の上今泉コミュニティーセンターで休憩を取り、秋葉山古墳群へと向かいました。古墳に近づくにつれ周囲が見渡せるようになり、そこが高台であることがよく分かりました。今野学芸員からそれぞれの古墳の年代について説明を受け、歩きながら形や高さを確認しました。最後に、関東では珍しい「国府型ナイフ形石器」が発見された「柏ヶ谷長ヲサ遺跡」を訪ね、行程距離9.5キロの探訪は幕を閉じました。盛りだくさんの充実した旅でした。



秋葉山古墳群

**秋の  
イベント  
紹介!**

定例体験以外

**9月16日(土) 13:00~16:00 みんな、集まれ!**

**旧石器ハテナ館まつり** で古代にタイムスリップ!!!

**10月7日(土)川原石のふしぎ 10月21日(土)文化財探訪 (田名地区)**

※詳しい内容や申し込み方法などは、広報さがみはらや相模原市のHPでご確認下さい。

クイズラリー、弓矢、縄文ペンダント、火おこし、ほか



# 河原石で石器作り



この日は、5月というのに真夏のような暑さとなりましたが、33名の参加者の皆さんは、やる気満々で石器作りに臨みました。まず、ハテナ館<sup>だせいせきふ</sup>で打製石斧は「斧<sup>おの</sup>」という呼び方と異なり、「土を掘る」ために使用されていたことなどの説明を受け、次に石器作りの方法を学びました。相模川の河原でホルンフェルス<sup>ほくへん</sup>という石を探し、台石に落として剥片を取り、それに柄をつけて完成です。

歩いて河原に行き、周囲に人がいないことを確認するなど注意事項を確認した後、早速石器作りが始まりました。河原のあちらこちらから「カーン」「コツン」という響きが聞こえてきます。最初は苦勞していた人たちも、何度か落としているうちに剥片を取ることに成功し、館に戻ってから柄をつけて、見事な石器を完成させていました。感想をうかがうと、「昔の人の知恵と努力が体験できた」「石を割るという体験がすばらしい」など、多くの方に満足していただけたようです。



夏休み特別企画

7月29日(土)

## 親子で学ぶ考古学

夏休みに入っすぐ開催されたこのイベントは、土偶作りを通して考古学を学んでいただくもので、5組14名の親子が参加しました。まず、国宝に指定されている「縄文のビーナス」や「仮面の女神」、「縄文の女神」などの土偶が紹介され、参加者は縄文の人たちの感性に驚いていました。また、花ヶ谷戸遺跡<sup>はながやといせき</sup>のハチマキをしたように見える土偶は実物が展示され、皆さん興味深そうに眺めていました。土偶作りは、顔のみ・全身・平面の3タイプから選んでいただきましたが、中には遮光器土偶<sup>しゃこうきどぐう</sup>に挑戦した方もいて、最後は作品を鑑賞し合うなど、楽しい講座となりました。



やせがわたんけん

8月5日(土)

## 八瀬川探検と魚観察

案内人の勝呂さん&学生さん



ほら、へびだよ!

護岸工事が行われていない箇所<sup>ごがんこうじ</sup>の多く残る八瀬川は自然の宝庫<sup>ほうこ</sup>です。今年度は29名で探検を行いました。案内人は神奈川県水産技術センター内水面試験場の勝呂尚之<sup>すぐるなおゆき</sup>さんです。129号線近くから川に入り、ひばり橋に向かって歩きました。木々のトンネルはジャングルのようで、歩いていると、ここが相模原であることを忘れそうになります。魚ややご、かになどを見つける度、参加者から歓声があがっていました。八瀬川探検は、この夏の忘れられない思い出となったことでしょう。

はじめまして!

平成29年度着任の学習指導員紹介です

おくい あきこ  
奥井 亜紀子

相模原で生まれ、相模原で育ちました。前職での展示解説やワークショップ指導の経験を生かしながら、郷土相模原の歴史を来館者の皆様へ伝えて行けたらと思います。どうぞよろしくお願ひします。